平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　WDBホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2475　URL　http://www.wdbhd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中野敏光
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 大塚美樹　TEL 079-287-0111

四半期報告書提出予定日　平成25年11月12日　配当支払開始予定日　平成25年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	12,369	4.0	838	△18.6	846	△18.6	413	△15.9
25年3月期第2四半期	11,895	10.0	1,029	42.5	1,039	44.4	491	34.6

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　417百万円　(△14.3%)　25年3月期第2四半期　487百万円　(33.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	42.00	―
25年3月期第2四半期	49.77	―

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,693	5,803	59.9
25年3月期	9,873	5,484	55.5

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　5,803百万円　25年3月期　5,484百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	1,000.00	―	2,000.00	3,000.00
26年3月期	―	5.00			
26年3月期(予想)			―	11.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。平成26年3月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しております。なお、平成25年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.9	2,010	△7.4	2,010	△8.9	1,100	△14.0	111.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり予想当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
当社の連結子会社であるミドルキャリア株式会社は、平成25年8月1日付で理系の転職株式会社へと商号変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,030,000 株	25年3月期	10,030,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	192,000 株	25年3月期	192,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,838,000 株	25年3月期2Q	9,866,400 株

(注)平成25年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．継続企業の前提に関する重要事象等 ……4
４．四半期連結財務諸表 ……5
（１）四半期連結貸借対照表 ……5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……11
(継続企業の前提に関する注記) ……11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……11
(セグメント情報等) ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出企業を中心とした企業業績も回復基調にあり、全体として景気回復の動きがみられるものの、米国の財政問題、新興国の経済不安等、先行きは不透明な状況が続いております。

国内の雇用情勢につきましては、厚生労働省が発表した平成25年９月の有効求人倍率（季節調整値）は0.95倍と改善の傾向にあり、また総務省が発表した同月の完全失業率（季節調整値）については4.0％と、完全失業者数も40ヶ月連続で減少となり、こちらも改善しておりますが、依然として高い水準にあります。

当社グループの主たる事業である人材サービス事業につきましては、平成24年10月に日雇い派遣の禁止、グループ企業内派遣の８割規制、マージン率の情報公開の義務化等を主たる内容とした改正労働者派遣法が施行されましたが、平成25年８月の「今後の労働者派遣制度の在り方に関する研究会」の報告において、受け入れ制限のある業務(自由化業務)の撤廃、同一の派遣先での就業期間を３年とする等の方向性が示唆されており、今後の労働関連法制の行方を注視しております。

このような状況のもと、当社グループは、「研究者が活躍する日本をつくる」、「キャリアの見通しをつける会社」という方針に基づき、これまで以上に顧客に対し研究職人材をはじめ研究に関する様々な付加価値を提供していくとともに、派遣スタッフにとっても当社グループを通して満足就労、キャリアアップの道筋を提供していきます。

当社グループは、「人材サービス事業」・「ＣＲＯ事業」・「研究開発・製造事業」・「教育事業」の４つの事業領域並びに、「グループ戦略補助事業」で構成されております。

人材サービス事業においては、中核であるＷＤＢ株式会社において、平成25年４月に奈良支店、和歌山支店の２拠点を開設し、更に平成25年10月には室蘭支店を開設予定であり、理学系研究職人材事業の業容拡大に向けて全国53拠点体制となる予定であります。

また、従来は中高年の人材を対象とした人材紹介事業を行っておりました「ミドルキャリア株式会社」について新たに「理系の転職株式会社」に商号変更を行い、広く理系の非正規雇用人材を対象に、正社員雇用の支援を行う人材紹介会社として事業を開始致しました。

ＣＲＯ事業においては、平成25年３月に、統計解析・データマネジメントを行っております電助システムズ株式会社を傘下に収め、ＷＤＢアイシーオー株式会社とともに、フルカバレッジのサービス体制を構築することにより、製薬企業を中心として顧客層の拡大を図っております。

研究開発・製造事業においては、株式会社ＷＤＢ環境バイオ研究所において、海洋生物を利用した生態影響試験の受託事業を本格的に開始するとともに、ＷＤＢ機能化学株式会社においても、医薬・化学・電気など幅広い業界において必須である新素材の研究開発を目的として合成実験代行事業に取組み、グループの事業領域を、研究職人材事業から研究の領域そのものに付加価値を提供する領域へと拡大すべく取り組んでおります。

教育事業においては、平成24年５月に開校致しました企業内大学院であるＷＤＢユニバーシティ株式会社は２期生を迎え、非正規雇用の課題である「キャリアの断絶」を解消させるため、専門の講師陣によるレベルの高い教育指導を行っております。

以上のような活動の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、中核である理学系研究職の売上高の増加により12,369百万円と前年同四半期と比べ474百万円(前年同期比4.0％増)の増収となりました。事業別の構成比は、人材サービス事業が98.2％、その他事業が1.8％であります。

営業利益につきましては、主として理学系研究職の人材サービス事業において、新たな拠点の出店並びに将来の業容拡大へ向け営業人員・支店人員の拡充等を行った結果、販売費及び一般管理費の増加が前年同期比239百万円となり、838百万円と前年同四半期と比べ191百万円（前年同期比18.6％減）の減益、経常利益は846百万円と前年同四半期と比べ193百万円（前年同期比18.6％減）の減益、四半期純利益は413百万円と前年同四半期と比べ77百万円（前年同期比15.9％減）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 人材サービス事業

研究職人材サービス並びにＣＲＯ事業の売上高が前年同四半期に比べ増加した結果、売上高は12,143百万円と前年同四半期と比べ510百万円（前年同期比4.4％増）の増収、セグメント利益（営業利益）は、新たな拠点の出店並びに営業人員・支店人員の拡充による経費の増加による影響により、984百万円と前年同四半期と比べ162百万円（前年同期比14.2％減）の減益となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

② その他

当セグメントの売上高は、海洋生物の生態影響試験事業、魚介類の養殖販売事業、有機化学品の製造事業は堅調に推移しましたが、合成実験代行事業が軌道に乗るまでに一定の時間を要することから経費が先行し、225百万円と前年同四半期と比べ36百万円（前年同期比13.8％減）の減収、セグメント損失（営業損失）は、17百万円(前年同四半期は９百万円の損失）となりました。

（注）セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の財政状態は、現金及び預金の増加はありましたが、未収消費税等の減少、受取手形及び売掛金の減少等により総資産は9,693百万円となり、前連結会計年度末と比較して180百万円の減少となりました。負債は、未払金の減少、借入金の減少等により3,889百万円となり、前連結会計年度末と比較して499百万円の減少となりました。また、純資産は5,803百万円となり、前連結会計年度末と比較して319百万円の増加となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の連結業績予想につきましては、平成25年９月６日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,943,635	2,274,427
受取手形及び売掛金	2,866,891	2,651,922
商品及び製品	9,077	11,752
仕掛品	17,310	10,705
原材料及び貯蔵品	10,678	9,438
その他	823,788	534,754
貸倒引当金	△3,427	△4,375
流動資産合計	5,667,955	5,488,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,796,019	1,784,948
土地	1,437,468	1,437,468
その他（純額）	157,525	158,274
有形固定資産合計	3,391,012	3,380,691
無形固定資産		
のれん	157,736	124,478
その他	7,289	6,163
無形固定資産合計	165,026	130,642
投資その他の資産		
投資その他の資産	655,635	703,367
貸倒引当金	△6,110	△9,884
投資その他の資産合計	649,525	693,483
固定資産合計	4,205,564	4,204,816
資産合計	9,873,520	9,693,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,286,739	1,238,191
短期借入金	15,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	317,208	227,208
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	314,190	378,082
賞与引当金	285,113	359,211
資産除去債務	2,037	―
その他	1,246,875	823,210
流動負債合計	3,487,164	3,050,903
固定負債		
長期借入金	483,368	392,264
退職給付引当金	41,032	47,108
役員退職慰労引当金	280,991	291,678
資産除去債務	63,567	69,103
その他	32,718	38,552
固定負債合計	901,678	838,708
負債合計	4,388,843	3,889,611

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	1,000,000
資本剰余金	52,525	52,525
利益剰余金	4,700,960	4,815,748
自己株式	△75,814	△75,814
株主資本合計	5,477,671	5,792,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,445	5,486
為替換算調整勘定	4,559	5,883
その他の包括利益累計額合計	7,005	11,370
純資産合計	5,484,676	5,803,830
負債純資産合計	9,873,520	9,693,442

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	11,895,520	12,369,598
売上原価	9,024,880	9,450,290
売上総利益	2,870,639	2,919,308
販売費及び一般管理費	1,840,749	2,080,678
営業利益	1,029,890	838,629
営業外収益		
受取利息	162	144
受取配当金	1,605	1,511
還付加算金	4,951	10,886
受取保険金	7,287	－
雑収入	6,175	3,984
営業外収益合計	20,182	16,525
営業外費用		
支払利息	4,731	1,725
為替差損	2,085	－
支払手数料	－	4,000
雑損失	3,407	2,980
営業外費用合計	10,224	8,706
経常利益	1,039,848	846,448
特別利益		
受取設備負担金	5,686	－
特別利益合計	5,686	－
特別損失		
固定資産除却損	5,746	－
減損損失	32,867	－
特別損失合計	38,613	－
税金等調整前四半期純利益	1,006,921	846,448
法人税、住民税及び事業税	496,828	457,736
法人税等調整額	19,012	△24,456
法人税等合計	515,841	433,280
少数株主損益調整前四半期純利益	491,080	413,168
少数株主利益	－	－
四半期純利益	491,080	413,168

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	491,080	413,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,912	3,040
為替換算調整勘定	△751	1,324
その他の包括利益合計	△3,664	4,364
四半期包括利益	487,415	417,533
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	487,415	417,533
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,006,921	846,448
減価償却費	93,146	88,955
のれん償却額	22,396	33,258
減損損失	32,867	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,194	4,722
賞与引当金の増減額（△は減少）	26,846	74,098
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,668	10,687
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,755	6,076
受取利息及び受取配当金	△1,767	△1,655
支払利息	4,731	1,725
有形固定資産除却損	5,746	－
売上債権の増減額（△は増加）	63,393	214,969
たな卸資産の増減額（△は増加）	10,229	5,169
その他の流動資産の増減額（△は増加）	201,111	317,534
仕入債務の増減額（△は減少）	△84,664	△48,547
未払金の増減額（△は減少）	8,170	△395,668
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△222,887	△29,787
受取保険金	△7,287	－
受取設備負担金	△5,686	－
その他	3,525	△945
小計	1,170,413	1,127,041
利息及び配当金の受取額	1,767	1,655
利息の支払額	△4,333	△1,682
保険金の受取額	7,287	－
法人税等の支払額	△521,717	△398,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	653,416	728,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,518	△59,013
無形固定資産の取得による支出	△1,941	△300
敷金の差入による支出	△47,199	△26,429
敷金の回収による収入	662	1,224
その他	△14,771	△19,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,768	△104,013

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△380,668	－
長期借入金の返済による支出	△181,104	△181,104
リース債務の返済による支出	△9,550	△7,671
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△138,760	△98,346
自己株式の取得による支出	△51,250	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771,333	△297,122
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,837	3,522
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△228,522	330,674
現金及び現金同等物の期首残高	2,241,571	1,939,089
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,013,049	2,269,763

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		その他（注）	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	11,633,422	11,633,422	262,097	11,895,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	35,539	35,539	―	35,539
計	11,668,962	11,668,962	262,097	11,931,060
セグメント利益又は損失（△）	1,147,569	1,147,569	△9,275	1,138,293

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,147,569
「その他」の区分の損失(△)	△9,275
セグメント間取引消去	5,588
全社費用(注)	△113,991
四半期連結損益計算書の営業利益	1,029,890

（注）全社費用は、平成23年11月１日の新設分割により純粋持株会社となった当社において発生する管理費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに係る事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成 25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	人材サービス事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	12,143,695	12,143,695	225,903	12,369,598
セグメント間の内部売上高又は振替高	25,313	25,313	―	25,313
計	12,169,008	12,169,008	225,903	12,394,912
セグメント利益又は損失（△）	984,637	984,637	△17,664	966,973

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有機化学薬品製造事業及び魚介類の養殖販売事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	984,637
「その他」の区分の損失(△)	△17,664
セグメント間取引消去	5,085
全社費用(注)	△133,429
四半期連結損益計算書の営業利益	838,629

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。